優秀賞：業務改善部門

所在地：広島県広島市
病床数：712床
従業員数：1,463人（うち看護職員数817人）
入院基本料看護配置：急性期一般入院基本料1

県立広島病院

看護記録に要する時間削減の効率化への取り組み
―記録内容の標準化とリアルタイム記録に焦点を当てて―

取組のきっかけ

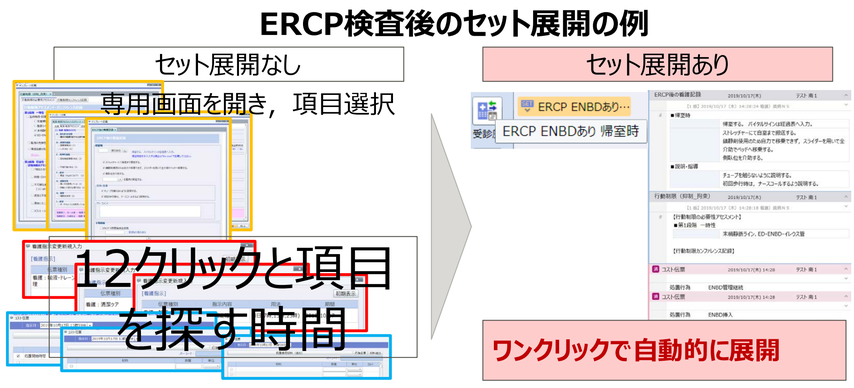
- 消化器病棟勤務看護師の一人当たり月平均時間外勤務時間数が33.7時間であり、病棟勤務看護師の約7割の年間時間外勤務が360時間を超えていた
- 業務量調査を行ったところ、看護記録の作成を勤務時間外に行っていること、そして勤務時間外の業務の半数が看護記録の作成に費やされていることが判明した
- 電子カルテの記録時間を確認したところ、看護記録がリアルタイム（1時間以内）に記載されていないことも判明した

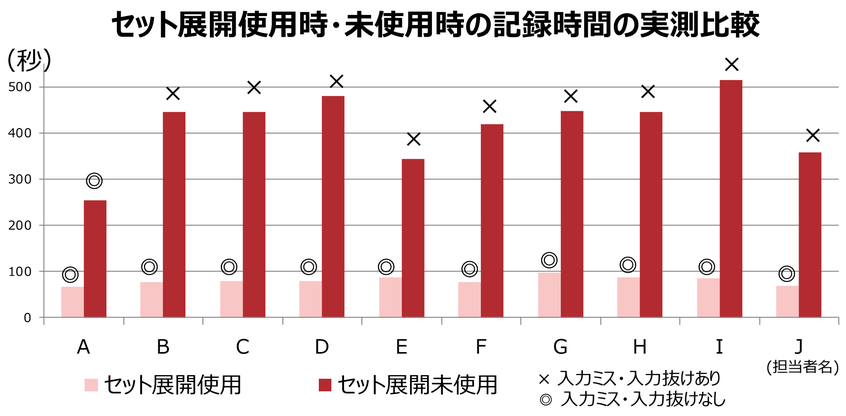
主な取組内容

① セット展開機能を利用した記録の効率化

※セット展開機能：テンプレート記録・看護指示・コスト入力等の看護記録に必要な項目を予め登録（セット登録）しておくことで、電子カルテ上でワンクリックするだけで自動的に項目が展開される機能。一つ一つ探して入力するよりも時間がかからない他、記録内容が標準化されるため、入力漏れを防ぐことができる

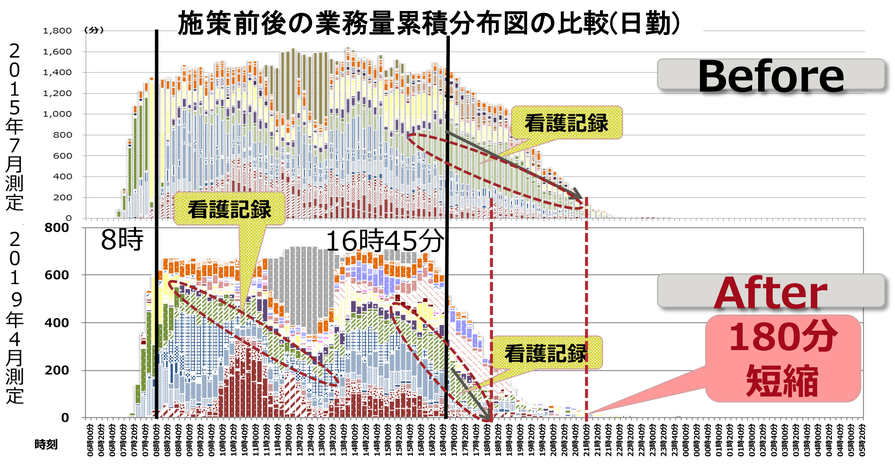
- 病棟の記録委員が、入院時（疾患別）、検査、処置、手術ごとに必要な記録項目を整理し、セット登録を作成した
- 病棟にセット展開機能を定着させるため、実際に使用して体感してもらい、セット展開使用時と未使用時で時間の差が明確にあることを可視化して示した





② リアルタイム記録の普及

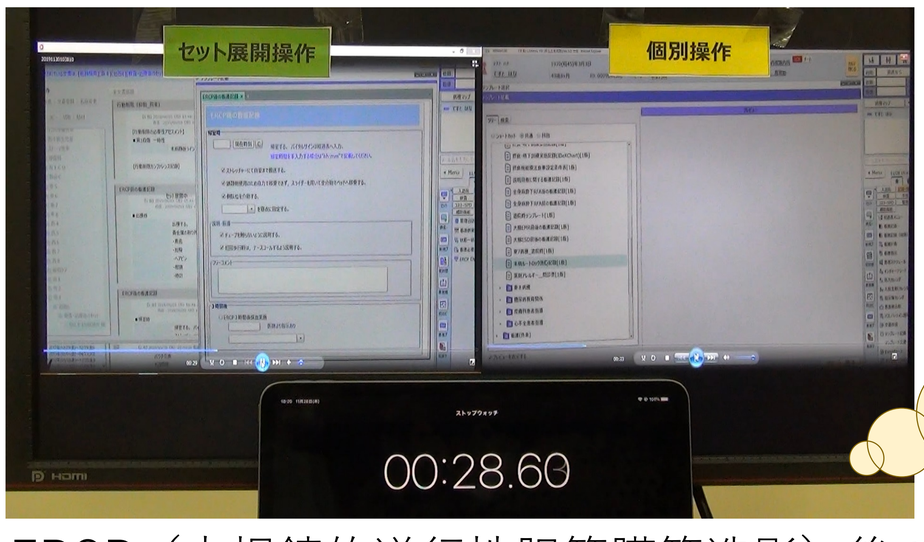
- セット展開機能により、記録が効率化・標準化されたため、ベッドサイドに電子カルテを持ち込むことでリアルタイムに記録を記載することが可能となった
- 看護体制を二人一組で業務を行うパートナー制とし、看護実践の合間の記録を可能とすることで、さらにリアルタイムの記録が増加した



※2019年では，2015年と比較し業務量調査期間が約半分のため積み上げ件数が半分になっています

取組の成果と効果

① **月平均時間外勤務時間数の削減**：33.7時間（2015年度）→9.6時間（2018年度）
② **病棟看護師時間外勤務時間総計の削減**：11,151時間（2015年度）→3,210時間（2018年度）
▶看護師の時給を2,000円で試算した場合、年間で約400万円 削減
③ **リアルタイム記録率の増加**：30％（2015年度）→77％（2018年度）
④ **勉強会開催数の増加（年間）**：5回（2015年度）→41回（2018年度）
⑤ **退院支援カンファレンス開催数の増加（年間）**：12回（2015年度）→120回（2018年度）
▶業務改善により勉強会やカンファレンスが勤務時間内に開催可能に
モチベーションと看護の質向上に寄与



ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）後のセット展開時と個別操作時の比較

- セット展開ではワンクリックで必要な項目が自動的に展開されるが、個別操作時は記録項目ごとに探す必要がある
- セット展開ですべての操作が終了したタイミングでは、個別操作では必要な操作（看護指示３種類とコスト伝票１種類）が残る

病院外観

Copyright 2020　公益社団法人 日本看護協会